はじめに

神栖市は、人口約94,000人余りで、市立幼稚園が4園、小学校が14校、中学校が8校あり、令和6年5月1日現在の幼稚園の園児数は254人、小学校の児童数は4,617人、中学校の生徒数は2,355人であります。

市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、令和5年度に「知性・品性・感性を磨きあげ あふれる創造性と強い耐性力をもとに 未来に輝く人づくり」を基本テーマとした「第3期神栖市教育振興基本計画」を策定し、学習指導や学校給食の充実、キャリア教育の推進、タブレット学習を進めていく中で天板の大きな机への切り替えや学校施設の外壁等改修工事の推進による教育環境の整備、多様な学習機会の充実、市内全域での読書環境の向上、スポーツレクリエーション施設の充実など、第1期および第2期計画の取組と課題を踏まえ、重点的に取り組む中期的な考え方や具体的施策を示しております。

本年度においては、以下の事業に力を入れて取り組んでまいります。

学力向上推進事業につきましては、1人1台端末の効果的活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、主体的・対話的で深い学びの実践に向けて、市内全校を対象にした訪問指導や各校の「アクティブ・ティーチャー」による校内研修の際に、市教育委員会指導主事が指導助言をすることで、「学び取る」をキーワードに「神栖市授業スタイル」の「自校化・自分化」を推進します。また、市費負担教職員や会計年度任用職員の活用により、少人数学級編制やティーム・ティーチングなどのきめ細やかな指導を実施します。さらに、市独自に英語力測定、小学生や中学生を対象とした英語研修を実施し、グローバル社会で活躍できる児童生徒の育成を目指します。

学校施設の環境整備につきましては、「神栖市学校施設等長寿命化計画」に基づき改修工事等を計画的に進めてまいります。

ICT機器の活用環境整備につきましては、GIGAスクール構想の実現のため、ICT教育環境の更なる向上を目指し、デジタル教科書や学習ソフトウェアを整備し、活用を推進します。

学校と地域住民等が協働しながら子ども達を育む環境づくりを目的とした「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」が、小学校1校、中学校1校をモデル校として令和6年度からスタートしました。今後、モデル校の運営状況を検証し、令和7年度の市内全小中学校への導入を目指して準備を進めてまいります。

また、豊ヶ浜運動公園内において、学校水泳授業を前提とした「はさきマリプール」が令和5年6月に開館しました。安心・安全な環境の中で充実した水泳授業を行うとともに、波崎東部地区に新たなスポーツ活動と市民交流を促進する場の提供ができるよう、効率的な施設運営を図ってまいります。

さらに、スポーツ活動や文化芸術活動の拠点である市内運動施設や文化センターにつきましては、令和2年度末に施設整備の基本方針を定めた「長寿命化計画」を策定いたしました。将来にわたって市民が安心・安全に施設を利用することができるよう、本計画のもと、長期的な視点で計画的かつ効率的に施設の修繕・改修を進めてまいります。

市教育委員会では、今後とも教育活動の主体となる学校、家庭、地域社会の皆様と連携・協働を図りながら、より良い教育環境づくりに取り組んでまいります。この「神栖市の教育」が多くの皆様に理解され、かみす元気っ子の育成にご活用いただければ幸甚でございます。

令和6年6月

神栖市教育委員会